⑻　方向制御弁（コントロール弁、パイロットコントロール弁を含む。）	①　スプールを動かし、円滑に作動するか調べる。	①　円滑に作動すること。
	②　本体、配管及び継手部からの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
	③　取付け状態を調べる。	③　取付け状態が適正であること。
⑼　電磁弁	①　電磁弁を作動させて、異音及び異常発熱の有無並びに作動の適否を調べる。	①　異音及び異常発熱がなく、かつ、正常に作動すること。
	②　油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⑽　圧力制御弁（リリーフ弁、減圧弁、シーケンス弁、カウンターバランス弁、アンロード弁、ブレーキ弁を含む。）	①　アクチュエーターを作動させるなどして負荷をかけ、作動の適否を調べる。	①　圧力制御弁が正常に作動すること。
	②　本体、配管及び継手部からの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⑾　流量制御弁（絞り弁、フローコントロール弁、デバダー弁を含む。）	①　アクチュエーターを作動させて、作動の適否を調べる。	①　流量制御弁が正常に作動すること。
	②　本体、配管及び継手部からの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⑿　逆止め弁（チェック弁、パイロットチェック弁、シャトル弁を含む。）	①　アクチュエーターを作動させて、作動の適否を調べる。	①　逆止め弁が正常に作動すること。
	②　本体、配管及び継手部からの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⒀　オイルクーラー	①　暖機運転の後、油温の適否を調べる。	①　冷却効果が適正であること。
	②　フィンの目詰まり並びにパイプの変形及び破損の有無を調べる。	②　目詰まり並びに著しい変形及び破損がないこと。
	③　クーラー本体及び配管接続部からの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
	④　ファンベルトの緩みを調べる。	④　張り具合が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
	⑤　ベルトの損傷及び摩耗の有無を調べる。	⑤　損傷及び著しい摩耗がないこと。
	⑥　電動式にあっては、モーターの異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	⑥　異常振動、異音及び異常発熱がないこと。
⒁　アキュムレーター	①　アクチュエーターを作動させ、作動速度等の異常の有無を調べる。	①　アキュムレーターが正常に作動すること。
	②　配管、ホース等の振れ及び異音の有無を調べる。	②　振れ及び異音がないこと。
	③　ガス封入圧を調べる。 ただし、①の検査の結果、正常に作動し、かつ、②の検査の結果、振れ及び異音がない場合は、この検査を省略することができる。	③　ガス封入圧が当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
⒂　回転継手（センタージョイント、スイベルジョイントを含む。）	負荷をかけた状態で回転させ、回転の状態及び回転継手からの油漏れの有無を調べる。	円滑に回転し、油漏れがないこと。

1.3　上部旋回体

検査対象の構造及び装置		検　査　方　法	判　定　基　準
1.3.1 原動機	ディーゼルエンジン	この表の「1.1.1　ディーゼルエンジン」に掲げる検査方法及び判定基準を適用すること。	
1.3.2 動力伝達装置	⑴　主クラッチ（機械式のものに限る。）	①　アイドリング状態でクラッチを切り、異音の有無を調べるとともにギヤを切り替えて、クラッチの切れ具合を調べる。	①　異音がなく、かつ、クラッチが完全に切れること。
		②　クラッチを徐々に接続し、発進の具合を調べる。	②　滑りがなく、かつ、接続が円滑であること。
	⑵　クラッチペダル及びレバー（機械式のものに限る。）	①　操作して重さ及び戻り具合を調べる。	①　重さ及び戻り具合が適正であること。
		②　ペダルの遊び及びクラッチが完全に切れたときのペダルと床面との隙間を調べる。	②　ペダルの遊び及びペダルと床面との隙間が過大又は過小でないこと。